

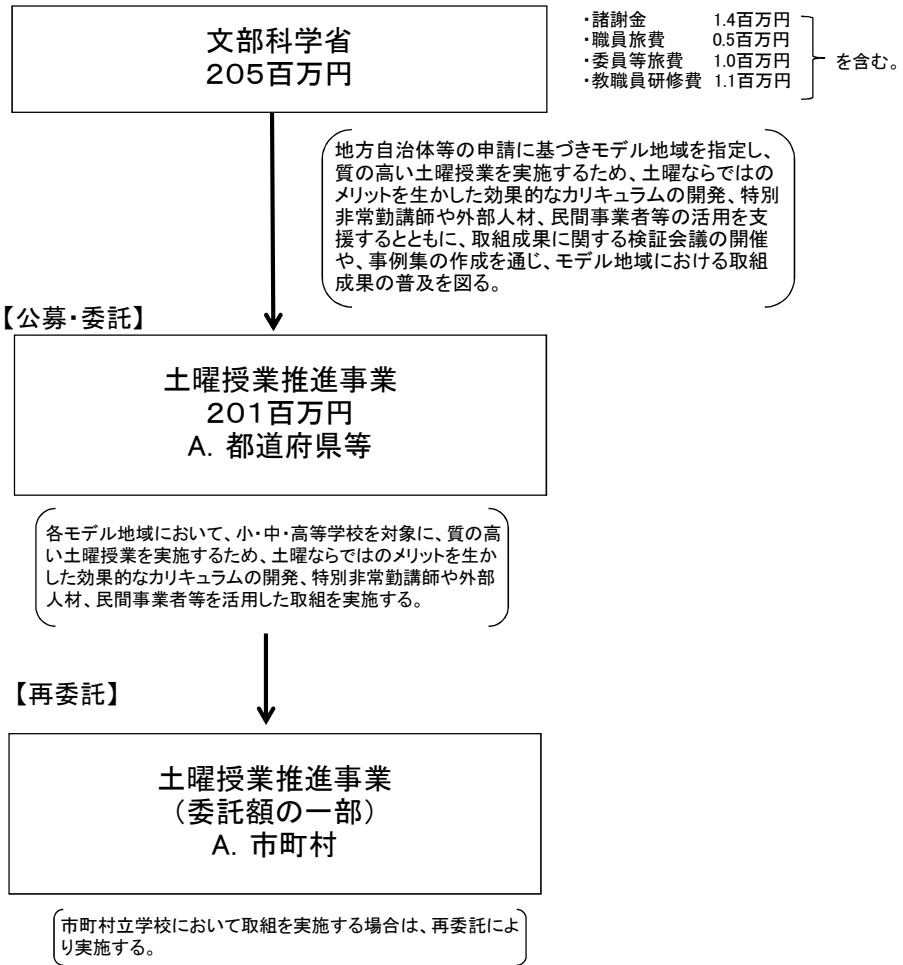
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	土曜授業推進事業	担当部局庁	初等中等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～未定	担当課室	教育課程課	教育課程課長	塩見みづ枝			
会計区分	一般会計	政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり Ⅱ-1 確かな学力の育成					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育基本法第13条	関係する計画、通知等	第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定) 文部科学省「土曜授業に関する検討チーム」中間まとめ(平成25年6月28日)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>学校週5日制が完全実施され10年あまりが経過する中で、必ずしも有意義に土曜日を過ごせていない子供たちも少なからず存在するとの指摘もなされているところであり、児童生徒の学力向上や豊かな人間性の育成のためには、学校、家庭、地域の三者が連携し、役割分担しながら、土曜日の教育環境をこれまで以上に豊かなものにする必要がある。</p> <p>このため、学校教育法施行規則の改正を通じて、設置者の判断により、土曜授業に取り組みやすくすることを予定しているところであるが、あわせて、本事業を通じ、各学校における質の高い土曜授業を実施するための支援策を講じることにより、土曜授業の効果的な推進を図る。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>質の高い土曜授業を実施するため、モデル地域における、土曜ならではのメリットを生かした効果的なカリキュラムの開発、特別非常勤講師や外部人材、民間事業者等の活用を支援するとともに、その成果の普及を図る。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						205
		繰越し等						
		計						205
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	成果目標:土曜日の教育環境を豊かなものにする 成果指標:モデル地域において土曜授業の実施に参画した学校数		成果実績	校				350
			達成度	%				-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	モデル地域の指定件数		活動実績 (当初見込み)	件				※26年度の活動見込である。 (70)
単位当たりコスト	(2,927円/日)		算出根拠	平成26年度要求額(204,917千円)/実施地域数(70地域)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	1.4百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」205百万円				
	職員旅費	-	0.5百万円					
	委員等旅費	-	1.0百万円					
	教職員研修費	-	1.1百万円					
	初等中等教育等 振興事業委託費	-	201百万円					
	計	-	205百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	児童生徒の学力向上や豊かな人間性の育成のためには、学校・家庭・地域が連携・協力し、土曜ならではのメリットを生かした質の高い土曜授業を推進し、子供たちの土曜日における教育活動の充実を図る必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施することとし、その妥当性と競争性を確保する。また、資金の支出については、事業計画書及び事業経費の費目・用途の精査を行った上で契約を行うなど、その妥当性を確認することとしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施に当たっては、上記のとおり妥当性と競争性を確保することとしており、効果的かつ低コストで実施することとしている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月閣議決定)において「土曜日における授業や体験活動の実施など、各地域の実情を踏まえ、土曜日の活用を促す。」、また、「文部科学省『土曜授業に関する検討チーム』中間まとめ」(平成25年6月28日)においては、「土曜日において、子供たちに、学校における授業や地域における多様な学習や体験活動の機会などこれまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えることができるよう、学校、家庭、地域のすべての大人が連携し、役割分担しながら取組を充実する必要がある」とされており、学校・家庭・地域が連携・協力し、土曜ならではのメリットを生かした質の高い土曜授業を推進し、子供たちの土曜日における教育活動の充実を図る必要がある。なお、文部科学省においては、本事業の実施に際し、本事業の趣旨等に関する説明会を開催した上で募集を行うなど、より効果的に推進していくための工夫を図っていく。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
<p>○第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定) http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/1336379.htm</p> <p>○文部科学省「土曜授業に関する検討チーム」中間まとめ(平成25年6月28日) http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.都道府県等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	会議出席謝金、外部人材謝金	99			
再委託	民間事業者の活用等	70			
旅費	会議出席旅費、外部人材旅費	28			
消耗品費	教材、コピー用紙等	4			
計		201	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0